



北九州市上下水道

ater

海外プロジェクト

Explore international water projects of Kitakyushu City!



北九州市の技術が世界を変える



北九州市方式で築く、 サステナブルな未来への挑戦

北九州市上下水道局の海外事業の特徴



国際技術協力の推進



世界14カ国へ**300人以上**の専門家を派遣
世界160の国と地域から**7,000人以上**の研修員を受け入れ
(2025年3月時点)



相手国職員の能力向上



相手国の生活環境の改善



海外水ビジネスの支援



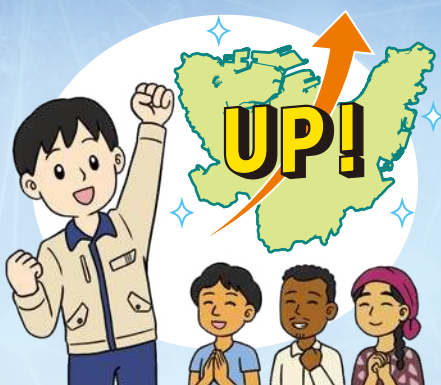
相手国との**強固な信頼関係**の構築

外交
方向
向上



浄水場・下水処理場建設などのビジネスチャンスの創出

北九州市上下水道局が海外事業を続ける3つの理由



国際貢献による市のイメージアップ



日本企業の産業振興



グローバル人材の育成と技術継承

北九州市海外水ビジネス推進協議会 (KOWBA)

Kitakyushu Overseas Water Business Association

設立目的 北九州市における官民連携による海外水ビジネスに向けた取組みを積極的に推進する。

組織

企業会員	138社	: 市内企業69社、市外企業69社 (2026年2月1日現在)
市関係局	4局	: 上下水道局、環境局、産業経済局、政策局
設立	関係機関等	9機関 : 北九州商工会議所、JICA九州、JBIC、DJB、JWWA、GCUS、JETRO、 中小企業基盤整備機構九州本部、アジアカーボンニュートラルセンター
2010年8月31日	学識経験者	3教授
	オブザーバー	5機関 : 総務省、経済産業省、国土交通省、日本下水道事業団、日本下水道新技術機構

役員 ・会長 ・副会長(2名)
・監事(2名)

幹事会(KOWBAの運営を円滑に行うため意見具申等を行う)
・幹事長:副会長(1名) ・副幹事長:1名 ・委員:10名程度

活動

カンボジア



カンボジア王国工業科学技術革新省、北九州市、KOWBA三者協力覚書を締結

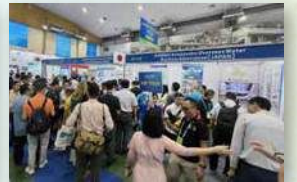


日本カンボジア上下水道セミナー

ベトナム



ベトナム上下水道協会との覚書の締結



ベトナムウォーターウィーク

ビジネス実績

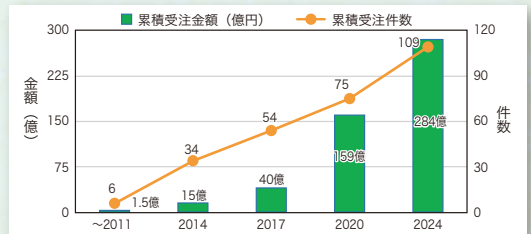
タクマウ浄水場(カンボジア)



アンズオン浄水場U-BCF(ベトナム)



企業会員が受注した案件件数、受注額



機器の販売



北九州市海外事業サポートセンター

- サポートセンターの主な機能
- ・レンタルオフィス
 - ・現地通訳や車両の手配サポート
 - ・会議室の提供 など



カンボジア・プノンペン事務所(2箇所)



ベトナム・ハيفون事務所



世界に広がる 北九州市の技術とネットワーク



タジキスタン



国家の水問題解決に貢献



エチオピア



アディスアベバ上下水道公社へ技術協力



ミャンマー

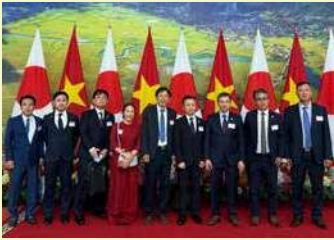


第2の都市マンダレー市の
浄水場の運営能力向上に貢献





ベトナム



強固な信頼関係と確かな技術力で
ベトナムの上下水道の発展に貢献



中国



友好都市・大連との長年の
信頼関係を生かした技術協力

北九州市



カンボジア



『プノンペンの奇跡』
アジアで数少ない「水道水が飲める町」に!!



インドネシア



首都ジャカルタの
水環境改善に貢献

カンボジア



Cambodia · Phnom Penh

上水道での活動

プノンペン都での水道人材育成プロジェクト(1999～2006)



職員を専門家として派遣し、短期間で水道普及率等が劇的に改善。
「プノンペンの奇跡」と呼ばれ、アジアで数少ない「飲める水道水」を実現しました。



プノンペンの奇跡 ～世界を驚かせた水道改革～

この成果は、世界から驚きを持って評価され、20年経過した現在でも、各メディアに取り上げられるなど、注目され続けています。

書籍▶



2024年10月
「新プロジェクトX」で
全国放送!

地方都市での水道人材育成プロジェクト(2007～2018)

世界遺産アンコールワットで知られるシムリアップ州など地方8都市の公営水道局において技術人材・経営管理人材育成プロジェクトを実施しました。その結果、全対象都市で「水質の大幅改善」「24時間給水」「単年度黒字化」を実現しました。

水道行政能力向上プロジェクト(2018～2021)

カンボジアの水道行政を所管する工業科学技術革新省(MISTI)と協力して、カンボジア全土の水道供給能力向上のため、水道法策定支援や組織体制強化・人材育成へのサポートを行いました。



技術指導 (バルブ操作)



技術指導 (配管接続)



技術指導 (ポンプ振動測定)



政府担当者との意見交換

プノンペン都の下水処理場整備

プノンペン都は人口200万人を超える大都市にもかかわらず、汚水や雨水は、街なかに張り巡らされた水路を流れ、川や湖などへ直接流れ込んでいます。

悪化する水環境を改善するため、2023年11月、日本の援助でプノンペン都初の公共下水処理場が完成しました。北九州市はこの下水処理場の設計、運転維持管理に関する業務に携わりました。



生活排水が流れ込み、水面が黒ずんでいる湖



プノンペンで整備された公共下水処理場

プノンペン都での環境教育や下水道維持管理能力向上の支援(2017～)

北九州市では、下水道整備の重要性を理解してもらうため、地元の小学校と協力し、環境教育授業や水路の清掃活動など、市民への啓発活動に取り組んでいます。

また、プノンペンの下水道が適切に維持できるように、下水管やポンプ場の維持管理マニュアルの整備などを行っています。



第1回プロジェクト開始時の様子(2017年8月)



第1回プロジェクト終了時の様子(2019年12月)

下水道管理能力強化プロジェクト(2019～)

プノンペン都での本格的な下水道事業の立ち上げに向けて、法制度策定や組織体制構築、下水道事業を計画する職員の能力強化を支援しました。

現在は、カンボジアの行政機関と協力して、下水処理場の拡張のための計画づくりを行っています。



下水道事業の説明を行う北九州市職員

ベトナム



Vietnam : Hai Phong

上水道での活動

北九州市独自の高度浄水処理技術

北九州市の姉妹都市であるベトナム・ハイフォン市は、大型河川の下流部に位置しており、近年、急速な経済発展に伴う河川の水質悪化に悩まされています。

そこで、環境にやさしい、北九州市独自の高度浄水処理技術「上向流式生物接触ろ過(U-BCF : Upward Biological Contact Filtration)」が、海を越え、ハイフォン市に展開されています。

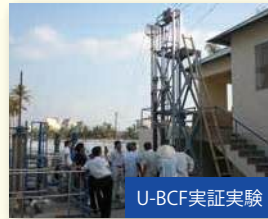
2010

1年間の実証実験の結果
U-BCFの有効性を確認

第1ステップ

実証実験の実施

JICA草の根技術協力事業で
U-BCFの実証プラントを設置。
効果が確認された。



U-BCF実証実験



2013



U-BCFは新興国にも輸出可能
であることが証明された

第2ステップ

小規模浄水場へ導入

ハイフォン市は、自己資金で小規模浄
水場(5,000m³/日)にU-BCFを導入。



ハイフォン市ビンバオ浄水
場に導入されたU-BCF

2018

第3ステップ

主力浄水場(10万m³/日) へ導入

日本の無償資金協力でU-BCFを整備。



ハイフォン市アンズオン浄水場-U-BCF

2020

ベトナム国のU-BCF普及に
向けた横展開を図る

第4ステップ

ベトナム各地への技術協力展開

水道水源の水質問題を抱えるベト
ナム各地の水道公社にU-BCFの実
証実験や人材育成などの技術協力
事業を展開。



ティエンザン文書交換式



フートオ覚書締結式

独自技術の普及促進を通じた技術協力を全国展開



北九州市が独自に開発した 上向流式生物接触ろ過(U-BCF)

河川が本来持つ微生物による自然浄化作用を効率的に行えるよう応用した技術。シンプルな設備で構成でき、電力消費も少なく、環境にやさしい点が特徴。

サステナブル

コスト比較

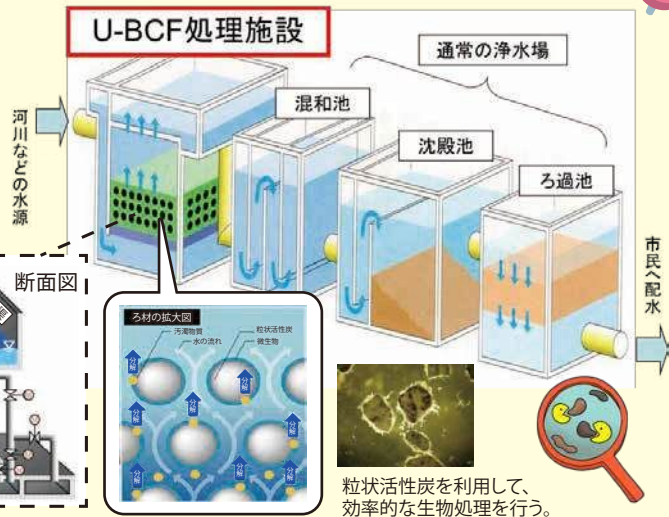
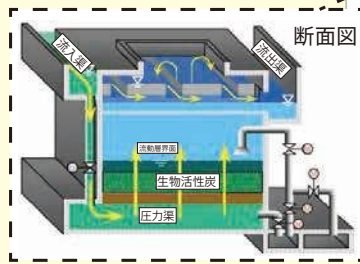
オゾン処理と比べ

・建設コスト:約1/2

・ランニングコスト:約1/20



解説動画



粒状活性炭を利用して、効率的な生物処理を行う。

下水道での活動

ハイフォン市の下水道維持運用能力向上に向けて

■課題

ベトナム・ハイフォン市は、世界遺産ハロン湾と近接する港湾都市ですが、急速な都市化に伴い、家庭や工場からの排水量が急増する一方、下水道の整備が不十分なため水環境の悪化が深刻です。



ハロン湾（世界遺産）
近年、水質汚染が課題



汚染されたハイフォン市の河川

■取り組み

・ポンプ場の維持管理指導（2012～2014）

ポンプ場の維持管理のためのマニュアル整備を行う。

・下水管渠の維持管理指導（2014～2017）

下水道管路の運営維持管理マニュアル整備を行う。

・下水処理場運転管理（2018～2024）

ハイフォン市初となる下水処理場が、2021年から稼働しました。

北九州市は、水環境の悪化・浸水被害といった課題を官民で克服してきた技術やノウハウを生かし、下水処理場運転・維持管理マニュアルの整備を行いました。



ハイフォン市初の下水処理場となるビンニエン下水処理場

・雨水管理のスマート化技術実証事業（2025～）

近年の大雨による浸水被害が深刻なため、降雨情報と下水管内水位をリアルタイムに監視できるシステムの実証を行っています。

このシステムによって、より迅速・効果的な水防活動を行うことができ、浸水被害を軽減できると期待されています。



世界に広がる北九州市の技術

インドネシア



Indonesia · Jakarta

下水道での活動

ジャカルタ市での技術協力(2015~2018)

首都ジャカルタ市では経済成長に伴う急速な都市化の結果、人口に対する都市基盤インフラの整備が遅れており、下水道普及率は4%にすぎません。

北九州市は、下水道整備促進のため、職員を長期派遣し、下水道整備の中長期計画の策定支援や下水道事業に関する条例・基準等の策定支援などを行いました。

現在、下水処理場や管路の整備などの事業が進んでいます。



ジャカルタ市内河川の汚濁状況



専門家とカウンターパートの会議

世界に広がる北九州市の技術

タジキスタン



Tajikistan · Dushanbe

上水道での活動

安全かつ安定的な給水支援

タジキスタン共和国では、水源が豊富であるものの、給水施設の老朽化や各戸への給水率が低く、間欠給水(3時間/日)や、女性と子どもによる水くみ労働などの課題を抱えています。

こうした中、JICA無償資金協力事業が開始され、株式会社北九州ウォーターサービスと北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業が同事業に参画し、北九州市上下水道局は、本邦研修やJICA個別専門家の派遣を実施しています。



公共井戸で水くみ労働する少女

世界に広がる北九州市の技術

エチオピア



Ethiopia · Addis Ababa

上水道での活動

首都アディスアベバ上下水道公社の無収水管理能力強化

JICA国際協力事業「エチオピア国アディスアベバ上下水道公社無収水削減管理能力向上プロジェクト」を、株式会社北九州ウォーターサービスと北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業が受注しました。

プロジェクトの一環として北九州市上下水道局は、本邦研修を実施しています。



本邦研修の様子

国内外からの評価・受賞事例

都市ブランドの向上



2012年

外務大臣表彰(日本政府)

技術協力分野、特にカンボジア王国における水道分野の国際協力事業が評価され、水道事業体として初の受賞。



2018年

OECD 「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」へ 選定

環境国際協力といった北九州市の強みが評価され、アジア初のモデル都市に選定。

2023年

第25回 日本水大賞「大賞」受賞

北九州市上下水道局の30年以上にわたる国際協力の活動が認められ大賞を受賞。



2017年

国連本部 「ハイレベル政治フォーラム」 での取組紹介

岸田外務大臣(当時)が北九州市上下水道局の国際技術協力を世界に向けて発表。



第1回 ジャパンSDGsアワード(特別賞)

「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部(本部長:内閣総理大臣)」が創設。上下水道局による国際技術協力や海外水ビジネスの実績をアピール。

2025年

第19回 自治体国際交流表彰 (総務大臣賞2025)

北九州市の「ベトナム国における安全な水の普及に関する技術協力」が認められた。



広報活動

海外での取組を、出前講演や密着動画でお届けしています!



出前講演



海外事業の取組を講演

地元高校の海外研修に同行



イベント出展



クイズ大会やパネル展示などを行っています

動画

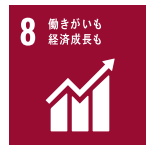


カンボジア・ベトナムで活動する北九州市職員の密着動画を制作

SDGsが掲げる
「誰も置き去りにしない」世界の実現に向け
北九州市は官民の英知を結集し
世界の水環境改善に貢献します。



海外事業がターゲットとするゴール



お問い合わせ先

北九州市上下水道局海外事業課

〒803-8510
北九州市小倉北区大手町1番1号小倉北区役所庁舎西棟5F
TEL:093-582-3111 FAX:093-582-2088
E-mail:sui-jigyoku@city.kitakyushu.lg.jp
URL:<https://kitaq-water-intl.jp>

発行:2026年3月

北九州市海外水ビジネス推進協議会

〒803-8510
北九州市小倉北区大手町1番1号小倉北区役所庁舎西棟5F
TEL:093-581-2166 FAX:093-581-2160
E-mail:kowba@kitaq-water-intl.jp
URL:<https://kitaq-water-intl.jp>

